

## 天声人語 (4) 優勝33回という偉業

(朝日新聞) 2015年1月25日 05時00分

### 一. 本文

相撲通の作家、故宮本徳蔵（とくぞう）さんは、1985年の著書『力士漂泊』で「強さ」の極致とは何かと問うた。69連勝の双葉山はどんな敵に対しても〈泰然自若とじて些少（さしょう）の動揺をも示さず〉に勝った。相手の方が自滅していくような印象すら受けたと書いている

▼その双葉山のDVDを見て研究したという白鵬が、33回目の優勝を果たした。69連勝への先年の挑戦は阻まれたが、今回は「角界の父」と慕った大鵬の記録を徐々に塗り替える偉業だ。テレビ画面の大鵬をどきどきしながら応援した世代としては、誠に感慨深い



▼白鵬は、双葉山の「泰然自若」を自分も実践しようとしていると語っている。土俵上の所作一つ一つをゆっくりとする。闘志が顔に出ないと言われるのも、何ものにも動じない心を目ざしているからだ、と。なるほど今場所の姿も実に悠然としている

▼今の境地に達するまでの苦労はいかばかりだったか。デビュー直後の序ノ口時代、負け越しを経験し、泣いたという。後に横綱に昇進するような力士なら普通はすんなり行くところで自分はつまづいた、と振り返っている

▼言葉や文化の壁もあったろう。しかし、冒頭に引いた宮本さんは、〈チカラビト〉すなわち力士は本来モンゴルで生まれたとする。「国技」の背後にユーラシアの広大な時空を見るべし、と。その出身力士の今日の隆盛は、後に宮本さんも積極的に評価したように時の勢いというべきだろう

▼大業は成った。この上はどこまで記録を伸ばすかだ。

## 二. 単語

1. 阻む	【はばむ】②	阻止, 阻挡。
2. 角界	【かくかい】◎	角力界; 相扑界。
3. 慕う	【したう】◎②	敬慕, 敬仰; 爱慕, 怀念。
4. どきどき	①	七上八下, 忐忑不安。
5. 土俵	【どひょう】◎	相扑场地 (台)。
6. 所作	【しよさ】①	举止, 动作, 行为。
7. デビュー	①	【法】debut。初次登台; 出道。
8. 序ノ口	【じよのくち】◎	开端, 刚刚开始, 序幕, 最低的等级。
9. 横綱	【よこづな】◎	(冠军大力士的称号); 出众, 首屈一指 (的人)。
10. すんなり	③	顺利, 不费力。[身体] 苗条, 纤细。
11. つまずく	◎③	绊 (倒), 摔倒; 失败, 受挫。ㄝ
12. ユーラシア	①	【英】Eurasia。欧亚 (大陆)。

## 三. ミニ文法コーナー

次の文の\_\_\_\_\_に最も適切なものを A~C の中から選びなさい。

1 時間で仕上げろとは言わないまでも、\_\_\_\_\_仕上げしてほしい。

- A できるだけゆっくり
- B 明日までには
- C 30分ぐらいで

ヒント: ~ないまでも 意味: ~ないにしても・~ないとしても

## 四. 豆知識

知らない間に日本人を縛り付けている身近な 8 つの言葉 (一)

### ①人間関係

#### ■一番大事なのは家族関係

- ・日本人にとっての人間関係=企業内の人間関係
- ・日本ほど人間関係 (企業内) の本が売れている国はない
- ・人間関係の基本で大切なのは家族



#### ■プレゼントがないと関係が作れない

- ・他人とコミュニケーションをスムーズにするためプレゼントが多い

・欧米ならモノよりもヒト、自分自身を売り込む

## ②スケジュール

### ■国民全員が手帳持参？

- ・欧米なら手帳を持つのは忙しいビジネスマンくらい
- ・日本では学生やママさんまでみんな手帳で時間管理

### ■アフターファイブ症候群

- ・手帳のアフターファイブの空白を見ると怖くなる
- ・でも怖いなら手帳を持たなければいいだけ